

■吉野源三郎 編集者，評論家。戦前の{日本少国民文庫}，戦後の{世界}など，ヒューマニズムから告発し続けた。

よしのげんざぶろう

Bushidou・・1899＝ 東京で，株式取引所仲買人の子に生まれる。

日露戦争終・1905＝ 6歳：

アヲチノ 創刊・1908＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝13歳：東京高等師範学校付属小学校を卒業。

ロシア革命・1917＝18歳：東京高等師範学校附属中学校を卒業。
本格政党内閣1918＝19歳：第一高等学校に入学し，

2年留年して，
原敬首相暗殺1921＝22歳：東京帝国大学経済学部に入學したが，
哲学への思いが嵩じて，文学部哲学科に転部，

新カント派哲学を研究して，
治安維持法・1925＝26歳：卒業。思い立って志願兵となり，
円本時代始・1926＝27歳：1年で除隊後，三省堂編集部を経て，
金融恐慌・・1927＝28歳：東大図書館に就職。

同時代の認識方法としてマルクス主義哲学を受容して，政治にも関心を持ち，

満州事変・・1931＝32歳：日本共産党のシンパとして治安維持法違反で逮捕され，軍国主義へ不信感を抱くようになり，

芥川直木賞始1935＝36歳：*山本有三の推薦で新潮社{日本少国民文庫}の編集主幹となり，自らも「君たちはどう生きるか」など執筆。
本文庫は良心的な児童図書として増刷を重ねた。ヒューマニズムと社会科学の基本的視点を兼備したこれらの作品は，大学生や知識人にも読まれた。

日中戦争始・1937＝38歳：岩波書店に勤務し，
健保+総動員 1938＝39歳：{岩波新書}の創刊に携わる。
第二次大戦始1939＝40歳：明治大学教授。
日米開戦・・1941＝42歳：

年金+総武装 1944＝45歳：
敗戦・・・・1945＝46歳：<敗戦>後は，常務取締役として編集部門の責任者となり，
新憲法公布・1946＝47歳：*平和の問題を最大の関心事とした総合雑誌{世界}が創刊され，その編集長としての仕事に力を注ぎ，

三大事件・・1949＝50歳：岩波書店取締役，
朝鮮戦争始・1950＝51歳：常務取締役，
独立回復・・1951＝52歳：この前後，多様な立場からなる平和問題談話会が全面講和論を強力に推進，大きな影響を及ぼした。

テレビ放送始・1953＝54歳：

55年体制始・1955＝56歳：*設立された{日本ジャーナリスト会議}の初代議長となる。

その後も政府の改憲論や安保改定の企てに，一貫して反対の論陣を張り続け，

美智子妃・・1959＝60歳：{安保批判の会}結成に参加し，
安保闘争・・1960＝61歳：安保闘争で活躍。中野好夫・加藤一郎らと{沖縄資料センター}を設立。

全国総合計画1962＝63歳：

大学紛争始・1965＝66歳：岩波書店の役員・編集長を辞任し，編集顧問。

ドルショック・・1971＝72歳：
日中国交回復1972＝73歳：「ヴェトナムを忘れるな」，
石油ショック1973＝74歳：
角栄金脈辞任1974＝75歳：「同時代のこと」，

JALハビグショック・1977＝78歳：中野好夫らとともに「広島・長崎アピール」を発表し，原水禁運動の統一を訴え，

貿易摩擦始・1980＝81歳：
・・・・・1981＝82歳：没した。

平凡社百科事典，インターネット，